

特種電気工事資格者認定証申請関係書類

＜申請に必要な書類＞

特殊電気工事の種類	ネオン工事	非常用予備発電装置設置工事		
取得方法	電気工事士免状を取得後、ネオンに係る工事に関して5年以上の実務経験を有し、かつ「ネオン認定講習」を修了した場合	電気工事士免状を取得後、「ネオン工事試験合格証」の交付を受けた場合	電気工事士免状を取得後、非常用予備発電装置に係る工事に関して5年以上の実務経験を有し、かつ「非常用認定講習」を修了した場合	
必要書類	特種電気工事資格者認定証交付申請書（様式5の2）	○	○	○
	電気工事士法第4条の2第3項の認定申請書（様式1の5）	○	○	○
	実務経験証明書	○	—	○
	電気工事士免状の写し	○	○	○
	講習修了証	○	—	○
	試験合格証	—	○	—
	本人確認書類（住民票など）1部	○	○	○
写真1枚（縦4cm×横3cm）		○	○	○
記載例		【1】	【2】	【3】
				【4】

＜申請に係る注意事項＞

- 特種電気工事資格者認定証交付申請書（様式5の2）の所定の位置に、収入印紙（4,700円）を過不足なく貼って下さい。なお、消印は押さないで下さい。
- 本人確認書類とは、住民票の写し、運転免許証、マイナンバーカード（表面）などを指します。
- 写真（縦4cm×横3cm）は、無帽、背景無地のもので、裏面に氏名・生年月日を記入して下さい。また、背景は白以外でお願いいたします。
- 申請書の住所、氏名、生年月日は本人確認書類に記載されているとおりに記入して下さい。
- 資格取得年月日あるいは合格年月日は、免状に記載されている年月日を記入して下さい。
- 書類一式を郵送する場合は、「書留又は簡易書留」により送付し、封筒の表には「特種電気工事資格者認定証交付申請書在中」と明記して下さい。
- 住民票等に記載された住所が中国地方5県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）の場合、中国四国産業保安監督部が申請窓口（下記参照）となります（四国支部では受理不可）
〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6番30号（広島合同庁舎2号館4階） 電話：082-224-5742
- 実務経験証明書は、記載内容を確認しますので、事前に下書きをメールで送付してください。
(メールアドレス：bzl-qsikps@meti.go.jp)

【申請先】

〒760-8512

香川県高松市サンポート3番33号（高松サンポート合同庁舎5階）
中国四国産業保安監督部四国支部 電力安全課 行

様式5の2（第9条の2関係）

特種電気工事資格者認定証交付申請書

収入印紙
4,700円
(消印をしないこと)

年 月 日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒

申請者 住 所 _____

(フリガナ)

氏 名 _____

生年月日 _____

電気工事士法第4条の2第1項の規定により特種電気工事資格者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格

1. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した
2. 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
3. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した
4. 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
5. 第一種電気工事士試験に合格した
6. 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
7. 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
8. 上記5から7までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された

※受付欄

※経過欄

様式1の5（第5条の2関係）

電気工事士法第4条の2第3項の認定申請書

年 月 日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒

申請者 住 所 _____

氏 名 _____

生年月日 _____

電気工事士法第4条の2第3項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類		特種電気工事資格者（）	
◎電気工事に関する資格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類	
		資格取得年月日	年 月 日
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類	
		資格取得年月日	年 月 日
	修了した講習	講習の種類	
		修了年月日	年 月 日
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及び経験年数	ネオンに関する工事・非常用予備発電装置工事	
	年		
電気工事士法施行規則第2条の4第1項に関する工事の経験年数	年		
電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年		
※受付欄	※経過欄		

(備考)

1. この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2. ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
3. ※印欄には、記入しないこと。
4. 特種電気工事資格者認定申請書の場合は、申請に係る認定証の種類の欄に特殊電気工事の種類も併せて記載すること。

実務経験証明書

ふりがな			生年月日	年 月 日
氏 名				
現住所	〒 一 (Tel :)			
現在の勤務先の名称及び所在地	名 称	(Tel :)		
	所在地	〒 一		
実務経験の期間及び内容				
所属部署及び役職名	期間	職務の内容		
通算期間	年 月			
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。				
年 月 日				
(届出 第 号) 所 在 地 〒 一				
法 人 名				
代表者氏名				印

(注意) 平成 2 年 9 月以降は、自家用電気工作物に関するネオン及び非常用予備発電装置に係る工事は、最大電力 500kW 未満のものだけが対象となります。最大電力 500kW 以上の自家用電気工作物に関するネオン及び非常用予備発電装置の工事は、電気工事士では従事できません。

【記載例 1-1】

様式 5 の 2 (第 9 条の 2 関係)

特種電気工事資格者認定証交付申請書

収入印紙
4,700 円
(消印をし
ないこと)

○○年○○月○○日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒000-0000

申請者 住 所 ○○県○○市○○町×丁目×番×号
(フリガナ) ケイ・イ・タロウ
氏 名 経済 太郎

生年月日 ○○年○○月○○日

電気工事士法第 4 条の 2 第 1 項の規定により特種電気工事資格者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格

- ① 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した
2. 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
3. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した
4. 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
5. 第一種電気工事士試験に合格した
6. 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
7. 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
8. 上記 5 から 7 までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された

※受付欄

※経過欄

【記載例 1-2】

様式 1 の 5 (第 5 条の 2 関係)

電気工事士法第 4 条の 2 第 3 項の認定申請書

○○年○○月○○日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒000-0000

申請者 住 所 ○○県○○市○○町×丁目×番×号

氏 名 経済 太郎

生年月日 ○○年○○月○○日

電気工事士法第 4 条の 2 第 3 項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類	特種電気工事資格者（ネオン工事）	
◎電気工事に関する資格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類
		資格取得年月日
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類
		資格取得年月日
	修了した講習	講習の種類
		修了年月日
	電気工事士法施行規則第 4 条の 2 第 1 項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及び経験年数	ネオンに関する工事・非常用予備発電装置工事 5 年
電気工事士法施行規則第 2 条の 4 第 1 項に関する工事の経験年数	年	
電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年	
※受付欄	※経過欄	

(備考)

- この様式の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
- ※印欄には、記入しないこと。
- 特種電気工事資格者認定申請書の場合は、申請に係る認定証の種類の欄に特殊電気工事の種類も併せて記載すること。

【記載例 1-3】

実務経験証明書

ふりがな	けいざい たろう		生年月日	○○年○○月○○日
氏名	経済 太郎			
現住所	〒000-0000 ○○県○○市○○町×丁目×番×号 (Tel: 000-000-0000)			
現在の勤務先の名称及び所在地	名 称	産業保安電気工事株式会社 (Tel: 087-811-8585)		
	所在地	〒760-8512 香川県高松市サンポート3番33号		
実務経験の期間及び内容				
所属部署及び役職名	期間	職務の内容		
電気工事課係員	平成10年4月～ 平成13年3月	<p>(平成10年3月 第二種電気工事士免状取得)</p> <p>左記の期間中に、一般用電気工作物及び最大電力500kW以上の自家用電気工作物に係る工事のうちネオン用として設置される分電盤、主開閉器（電源側の電線との接続部分を除く。）、タイムスイッチ、点滅器、ネオン変圧器、ネオン管及びこれらの附属設備の新設又は変更する工事に作業者として○○件従事した。</p> <p><代表例></p> <p>○○パチンコ屋上ネオン工事 ○○kVA ○○年○○月 ○○ホテルネオン看板工事 ○○kVA ○○年○○月 ○○SCネオン工事 ○○kVA ○○年○○月 パチンコ○○ネオン工事 ○○kVA ○○年○○月 その他新設工事○○件、改修工事○○件</p>		
電気工事課主任	平成13年4月～ 平成15年9月	<p>左記の期間中に、上記と同様な作業を行うとともに、主任として現場における作業の監督にあたった。</p> <p><代表例></p> <p>○○ホテルネオン改修工事 ○○kVA ○○年○○月 ○○パチンコネオン改修工事 ○○kVA ○○年○○月 SC○○ネオン工事 ○○kVA ○○年○○月 その他新設工事○○件、改修工事○○件</p>		
通算期間	5年5月			
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。				
○○年○○月○○日				
<p>(四国経済産業局長届出 第×××××号) 所在地 〒760-8512 香川県高松市サンポート3番33号 法人名 産業保安電気工事株式会社</p>				
代表者氏名 代表取締役 ○○ ○○ 印				

【記載例 2-1】

様式 5 の 2 (第 9 条の 2 関係)

特種電気工事資格者認定証交付申請書

収入印紙
4,700 円
(消印をし
ないこと)

○○年○○月○○日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒000-0000

申請者 住 所 ○○県○○市○○町×丁目×番×号
(フリガナ) ケイ・イ・タロウ
氏 名 経済 太郎

生年月日 ○○年○○月○○日

電気工事士法第 4 条の 2 第 1 項の規定により特種電気工事資格者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格

1. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した
2. 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
3. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した
4. 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
5. 第一種電気工事士試験に合格した
6. 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
7. 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
8. 上記 5 から 7 までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された

※受付欄

※経過欄

【記載例2-2】

様式1の5（第5条の2関係）

電気工事士法第4条の2第3項の認定申請書

○○年○○月○○日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒000-0000

申請者 住 所 ○○県○○市○○町×丁目×番×号

氏 名 経済 太郎

生年月日 ○○年○○月○○日

電気工事士法第4条の2第3項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類		特種電気工事資格者（ネオン工事）	
◎電気工事に関する資格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類	ネオン工事試験
		資格取得年月日	○○年○○月○○日
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類	第二種電気工事士免状
		資格取得年月日	○○年○○月○○日
	修了した講習	講習の種類	
		修了年月日	年 月 日
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及び経験年数	ネオンに関する工事・非常用予備発電装置工事 年	
電気工事士法施行規則第2条の4第1項に関する工事の経験年数	年		
電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年		
※受付欄	※経過欄		

（備考）

- この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
- ※印欄には、記入しないこと。
- 特種電気工事資格者認定申請書の場合は、申請に係る認定証の種類の欄に特殊電気工事の種類も併せて記載すること。

【記載例 3-1】

様式 5 の 2 (第 9 条の 2 関係)

特種電気工事資格者認定証交付申請書

収入印紙
4,700 円
(消印をし
ないこと)

○○年○○月○○日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒000-0000

申請者 住 所 ○○県○○市○○町×丁目×番×号
(フリガナ) ケイ・イ・タロウ
氏 名 経済 太郎

生年月日 ○○年○○月○○日

電気工事士法第 4 条の 2 第 1 項の規定により特種電気工事資格者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格

1. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した
2. 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
3. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した
4. 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
5. 第一種電気工事士試験に合格した
6. 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
7. 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
8. 上記 5 から 7 までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された

※受付欄

※経過欄

【記載例3-2】

様式1の5（第5条の2関係）

電気工事士法第4条の2第3項の認定申請書

○○年○○月○○日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒000-0000

申請者 住 所 ○○県○○市○○町×丁目×番×号

氏 名 経済 太郎

生年月日 ○○年○○月○○日

電気工事士法第4条の2第3項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類		特種電気工事資格者（非常用予備発電装置工事）	
◎電気工事に関する資格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類	
		資格取得年月日	年 月 日
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類	第二種電気工事士免状
		資格取得年月日	○○年○○月○○日
	修了した講習	講習の種類	非常用予備発電装置工事資格者認定講習
		修了年月日	○○年○○月○○日
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及び経験年数	ネオンに関する工事・非常用予備発電装置工事 5年	
電気工事士法施行規則第2条の4第1項に関する工事の経験年数	年		
電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年		
※受付欄	※経過欄		

（備考）

- この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
- ※印欄には、記入しないこと。
- 特種電気工事資格者認定申請書の場合は、申請に係る認定証の種類の欄に特殊電気工事の種類も併せて記載すること。

【記載例 3-3】

実務経験証明書

ふりがな	けいざい たろう		生年月日	○○年○○月○○日
氏名	経済 太郎			
現住所	〒000-0000 ○○県○○市○○町×丁目×番×号 (Tel: 000-000-0000)			
現在の勤務先の名称及び所在地	名 称	産業保安電気工事株式会社 (Tel: 087-811-8585)		
	所在地	〒760-8512 香川県高松市サンポート3番33号		
実務経験の期間及び内容				
所属部署及び役職名	期間	職務の内容		
電気工事課係員	平成10年4月～ 平成13年3月	<p>(平成10年3月 第二種電気工事士免状取得)</p> <p>左記の期間中に、最大電力500kW以上の自家用電気工作物に設置する非常用予備発電装置の据付工事及び同配管工事に作業者として○○件従事した。</p> <p><代表例></p> <p>○○病院新設工事 ○○○kW ○○年○○月～○○年○○月 ○○ポンプ場改修工事 ○○○kW ○○年○○月～○○年○○月 ○○中央病院新設工事 ○○○kW ○○年○○月～○○年○○月 ○○(株)○○工場改修工事 ○○○kW ○○年○○月～○○年○○月 その他新設工事○○件、改修工事○○件</p>		
電気工事課主任	平成13年4月～ 平成15年9月	<p>左記の期間中に、上記と同様な作業を行うとともに、主任として現場における作業の監督にあたった。</p> <p><代表例></p> <p>○○ホテル改修工事 ○○○kW ○○年○○月～○○年○○月 ○○市立病院新設工事 ○○○kW ○○年○○月～○○年○○月 ○○S C改修工事 ○○○kW ○○年○○月～○○年○○月 その他新設工事○○件、改修工事○○件</p>		
通算期間	5年5月			
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。				
○○年○○月○○日				
<p>(四国経済産業局長届出 第×××××号) 所在地 〒760-8512 香川県高松市サンポート3番33号 法人名 産業保安電気工事株式会社</p>				
代表者氏名 代表取締役 ○○ ○○ 印				

【記載例 4-1】

様式 5 の 2 (第 9 条の 2 関係)

特種電気工事資格者認定証交付申請書

収入印紙
4,700 円
(消印をし
ないこと)

○○年○○月○○日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒000-0000

申請者 住 所 ○○県○○市○○町×丁目×番×号
(フリガナ) ケイ・イ・タロウ
氏 名 経済 太郎

生年月日 ○○年○○月○○日

電気工事士法第 4 条の 2 第 1 項の規定により特種電気工事資格者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格

1. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した
2. 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
3. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した
- ④ 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した
5. 第一種電気工事士試験に合格した
6. 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
7. 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した
8. 上記 5 から 7 までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された

※受付欄

※経過欄

【記載例 4-2】

様式 1 の 5 (第 5 条の 2 関係)

電気工事士法第 4 条の 2 第 3 項の認定申請書

○○年○○月○○日

中国四国産業保安監督部長 殿

〒000-0000

申請者 住 所 ○○県○○市○○町×丁目×番×号

氏 名 経済 太郎

生年月日 ○○年○○月○○日

電気工事士法第 4 条の 2 第 3 項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類		特種電気工事資格者 (非常用予備発電装置工事)	
◎電気工事に関する資格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類	非常用予備発電装置工事講習終了及び試験
		資格取得年月日	○○年○○月○○日
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類	
		資格取得年月日	年 月 日
	修了した講習	講習の種類	
		修了年月日	年 月 日
	電気工事士法施行規則第 4 条の 2 第 1 項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及び経験年数	ネオンに関する工事・非常用予備発電装置工事	
電気工事士法施行規則第 2 条の 4 第 1 項に関する工事の経験年数	年		
電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年		
※受付欄	※経過欄		

(備考)

- この様式の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
- ※印欄には、記入しないこと。
- 特種電気工事資格者認定申請書の場合は、申請に係る認定証の種類の欄に特殊電気工事の種類も併せて記載すること。